

静岡県広告美術業協同組合
令和2年度 第3回理事会議事録

- 開催日時及び場所 令和2年10月24日(土)14時00分 静岡県広告美術業協同組合事務所
- 理事の数及び出席理事の数 理事22名 出席理事14名
- 出席理事の氏名
上村計介 田中治之 堤 丈夫 守屋勝博 守屋一輝 野口繁明 土田哲之 大野健史
鈴木恵亮 藤田 一 鈴木淑仁 内山隆之 小楠峰男 仙田治興
- 議長の氏名 上村 計介
- 審議事項

① 日広連賦課金の件

日広連全国大会の協力金が会員一人につき月額200円ずつ増額され、最終的には3年間で約40万円を負担するが、組合員からは徴収せず組合が立替えている。また日広連賦課金の免除分を返金した場合、会員一人当たりの返金額は2,700円と少額であるし、返金手数料は組合負担で約34,000円もかかる。以上のような協議の結果、日広連賦課金の免除金は組合の本会計に雑収入として入れることとなった。

② 令和2年度第39回サインアートコンクール協力金について

コンクールは中止となったが返金はせず、来年のサインアートコンクールのため繰越すこととなった。

③ 川上政年理事の辞任について

一身上の都合ということで辞任を希望する旨の連絡を浜松支部長及び事務局で受けた。川上氏には理事としてこれまで長きにわたり組合活動に貢献していただき、盛り上げてくださったので大変残念であるが、一同了承した。川上理事の辞任により、理事数は21名となった。尚、理事の補填は行わない。

④ 令和3年の第39回サインアートコンクールの開場及び主管支部について

令和3年度のサインアートコンクールは、会場も主管も令和2年度と同様に、静岡駅北口イベント広場で富士・富士宮支部の主管で行うことになった。(技能士会と北駿支部が補助)。

なお、サインアートコンクールと同様に中止となったものづくりフェスタの主管についても、今年の主管であった清水支部の主管で行う。(中部・静岡支部が補助)

⑤ 日広連全国大会 会場観光委員会 人員配置計画について

10月29日に開催する日広連全国大会第3回実行委員会で、静広美が担当する会場・観光委員会で発表する人員配置計画の資料について内容を確認した。

JR浜松駅の改札口からタクシー乗り場とシャトルバス乗り場への案内の人員や、観光での日本平や伊豆観光での先回り班について、会場・観光委員だけでは人員不足につき、組合員の協力が必要であることを確認した。

上村理事長からは、来年の日広連全国大会については、できる限りフルコース参加してほしい。どうしても無理な方は先回り班で参加していただき、それでも人員が不足した場合は従業員やご家族にも協力していただきたいとの要請があった。

⑥ 2021年新年会の件

コロナウイルス対策を考慮し、安全に開催する方向で進める。ただし、年末の状況で感染拡大が懸念される場合は中止を検討する。主管は静岡支部・中部支部で補助として清水支部があたる。詳細については、12月5日の第4回理事会で協議する。

⑦ 会勢持続のための方策について

OB会の設立や、勉強会(技能・技術の検証や、SDGsへの取り組み等)を行うことで新しい組合の価値を創造するといった意見が出たが、具体的な進展にはつながらなかった。もし新しいアイデアの発案が理事会で承認を受け、それに同調する人が集まり、委員会やサークル等の形を結成したとするならば、組合として広報活動の協力が可能である。この件は継続審議とする。

その他、議案書の通り。

議長は、以上の議案審議を終了した。
時に 17時15分

上記のとおり議事の顛末を記録し、出席役員が記名捺印する。

令和2年10月30日

議長理事 上村 計介 ㊟

副理事長 田中 治之 ㊟ 副理事長 堤 丈夫 ㊟ 副理事長 守屋 勝博 ㊟

副理事長 守屋 一輝 ㊟ 理事 大野 健史 ㊟ 理事 野口 繁明 ㊟

理事 土田 哲之 ㊟ 理事 鈴木 恵亮 ㊟ 理事 藤田 一 ㊟

理事 内山 隆之 ㊟ 理事 小楠 峰男 ㊟ 理事 鈴木 淑仁 ㊟

理事 仙田 治興 ㊟

■理事会覚書（懇親会内での意見を含む）

① 支部合併の動きについて

10月21日の裾野東中学校のWAZAチャレンジ教室で北駿支部と沼津支部が協力して担当したことをきっかけに、支部員同志で話し合いの機会があり、沼津支部と北駿支部を統合する案が持ち上がったとのことであった。組合員の減少により、サインアートコンクール等の恒例行事や共同受注を支部単位で行うことが困難になってきているという意見をその他の支部からも聞く機会が増えてきているため、全支部からの意見も吸い上げて近々の課題として協議を進めていく必要がある。

② 静広美組合での旅行について

組合ではこれまでに、旅行で会員同士が交流する中で情報交換を行ったり、懇親を深めることを目的として、周年事業を兼ねた海外旅行や、技能グランプリの際に応援団で行う一泊旅行、日広連全国大会の最終日に静広美ツアーと称して一泊観光を企画してきた。直近では昨年11月に、日広連全国大会の下見を兼ねて来年の全国大会の観光コース（日本平～伊豆～沼津）を巡る1泊旅行を行った。だが、それらとは別に定期的に（1年に1回や偶数年のみ等）近距離（伊豆や東京サインショー等）の旅行も良いのではという意見があった。

③ 日広連の全国大会について

コロナウイルスの影響で日広連全国大会の開催について心配している方も多いが、開催中止か否かのタイミングを計る鍵であるキャンセル料の発生時期は来年の2月頃からとなっている。

状況を鑑み日広連や東海連が決断するが、静広美としてははっきりと中止が決定するまでは開催の方向で準備を進める意向です。

④ 組合事務局で、コロナウイルス対策の各種補助金を申請し約240万円の承認をうけることができた。昨年より組合員の減少により賦課金が減少し、賦課金の値上げについて言及されはじめていたが、これにより多少の猶予ができた。

⑤ 理事会に支部長が出席できなかつたり、支部会が開かれず理事会での協議内容が支部員に伝わらないこともあるかと思いますが、事務局から全組合員へ直接送付している静広美通信にはかなりの情報が掲載されているので、是非目を通してもらいたい。理事会の様子をウェブで配信してはどうかという意見もあったので、取り急ぎ静広美 Web で、理事会議案書と議事録を会員のみ閲覧できるようにする。